

アライオークション

「3つのSHINKA」で新たなステージへ

パーツオークション独立開催をはじめ、
専門性強化・利便性向上・取引ネットワーク拡大を推進

アライオークションは、3つのSHINKA（進化・深化・新価）を掲げ、オークション運営の「基盤強化」「専門特化」「領域拡張」を進めてまいります。その中核施策として、パーツオークションの独立開催を開始するとともに、建機・農機・フォークリフトの専門特化開催、小山会場14レーン化、4輪小山の開催曜日変更などを順次進めてまいります。

3つのSHINKAで新たなステージへ。

基盤強化・専門特化・領域拡張で、3つのSHINKAを加速。



■ パーツオークション独立開催（2026年9月1日～）

今回の取り組みの中で、最も大きな柱となるのが、機械やトラックの部品を扱うパーツオークションの独立開催です。当社ではこれまで、小物機械や建設機械などのアタッチメントを取り扱ってまいりました。さらなる取扱商材の拡充可能性を検証するため、約1年間のトライアルを通じて市場ニーズを確認してきました。その結果、専門性向上と事業性の両面から、独立展開が最適と判断し、本格実施を決定しました。開催は毎週火曜日・土曜日の週2回を予定しています。現在、総合機械オークションでは発電機、投光機、コンプレッサー、アタッチメントなどを、バントラオークションではタイヤ、エンジン、パワーゲートなどを取り扱っています。9月以降は、建機パーツ（エンジン、キャビン、足回り）などへ取扱商材を拡大します。あわせて、独立開催に伴い、パーツ商材に適した規約・手数料体系への見直し、取扱商材数の拡充、評価基準の導入を進めます。これにより、より参加しやすく、分かりやすい取引環境を整えると同時に、余剰パーツの流通促進による二次流通の活性化と、サステナブルな価値創出を目指します。

■建機・農機・フォークリフトを専門特化開催（2026年9月1日～）

専門性強化の施策として、建機・農機・フォークリフトの専門特化開催を進めます。従来は、建機・農機・フォークリフトなどの商材を総合的にオークションで取り扱ってまいりました。9月から商材ごとの特性を明確にした運営へ移行することで、専門オークションとしてのブランド確立を図ります。これにより、参加しやすさ、対応スピード、運営の最適化を進めるとともに、市場活性化と新規参加者の拡大につなげてまいります。

■小山会場 14 レーン化と 4 輪開催の曜日変更（2026年9月5日～）

利便性向上に向けて、小山会場のレーン数を拡大します。9月5日から、バントラは10レーンから14レーンへ、総合機械は8レーンから10レーンへ増設予定です。これにより、取扱商材・台数の拡大に対応するとともに、セリ時間の短縮を図ります。あわせて、4輪小山の開催曜日変更も実施します。開催日を見直すことで、出品準備や情報提供の効率化を進め、会員の皆さまにとってより利用しやすい運営体制を整えます。

■今後に向けて

アライオークションは今後も、「3つのSHINKA」を通じて、利便性の向上、専門性の強化、取引ネットワークの拡大を進めてまいります。なかでもパーツオークション独立開催を重要施策として位置づけ、会員の皆さまにとって、より使いやすく、価値あるオークション運営の実現を目指します。

<本件に関する取材申し込み・お問い合わせ>

荒井商事株式会社 アライオークション

企画本部 マーケティンググループ

電話番号：03-5204-2520 URL：www.araiiaa.jp/lp

